

2026年度年次大会プログラム

7月11日(土)

於：大阪産業創造館

第1会場 (5階研修室AB)		(司会) 京都大学 山田仁一郎
14:00～14:45	『私の履歴書』にみる男性経営者のパートナー観	京都大学卒業 山本陶二 京都大学 柳 淳也 京都大学 山田仁一郎
14:45～15:30	企業家活動における育児の影響:性差の視点から	専修大学 鹿住 倫世
15:30～16:15	後継者の家族関係とアントレプレナーシップ— 事業承継におけるエンゲージメント形成プロセスの解釈的現象学的分析	東洋大学 山本 聡
16:25～17:25 総 会		
報告事項	①編集委員会報告 ②企画委員会報告 ③学会賞委員会報告 ④総務委員会報告	
協議事項	①2026年度アントレプレナーシップ・コンファランスについて ②2026年度冬季部会大会について ③2025年度事業報告(案)・決算(案) ④2026年度事業計画(案)・予算(案) ⑤理事の退任と選任について ⑥役員選考委員会委員の選出について	

第2会場 (5階研修室C)		(司会) 立命館大学 水野由香里
14:00～14:45	企業家が事業を引き受けるということ—第三者承継M&Aにおける応諾の理論化	(一社)中小企業M&A研究所 蒲 鉄雄
14:45～15:30	今治海事クラスターの発展と結節点としての商工会議所の役割	松山大学 西岡久継
15:30～16:15	物流機器システム企業の競争優位の源泉:統合報告書等の文書分析	オークラ輸送機(株) 齋賀 英孝 国際基督教大学 稲葉 祐之

第3会場 (5階会議室D)		(司会) 関西学院大学 加藤雅俊
14:00～14:45	地域企業家の理念と事業創発—東北における復興から創生へ	宇都宮大学 大嶋淳俊
14:45～15:30	稲盛哲学による人的資本経営の実装—ガリレイグループ事例研究—	京都橘大学 山中香織
15:30～16:15	制度変化と企業家行動による資源の呪い克服のメカニズム	新潟大学 CHENG Yindi

β本町橋(仮)		
17:35～19:30	懇 親 会 ※参加費・事前申込み要	会場: β本町橋 大阪市中央区本町橋4-8

～ご案内～

- *アフターセッション用に、5階研修室Eをご用意いたしております。
- *7月11日の懇親会は、β本町橋で開催いたします。
- *7月12日共通論題報告の会場は、4階イベントホールです。
- ※発表者の順番・会場・スケジュール等は変更する可能性もありますので、予めご了承ください。

2026年度年次大会プログラム

7月12日(日)

於：大阪産業創造館

第1会場 (5階研修室AB)		(司会) 関西大学 沈政郁
9:30~10:15	新規事業創出を阻む認知バイアスと組織的意思決定支援システム	県立広島大学(院)修了 安江 昭 県立広島大学 高橋陽二
10:15~11:00	Is speedy start-up always better? The role of entrepreneurs' prior experience	関西学院大学 加藤雅俊
11:00~11:45	起業関心・起業経験の形成要因と効果:大卒者調査データの分析	駒澤大学 岡室博之

第2会場 (5階研修室C)		(司会) 武蔵大学 鈴木正明
9:30~10:15	比較事例研究にみるレガシーとパーパスの相互関係	周南公立大学 石谷康人
10:15~11:00	組織成長段階と人事制度の統合プロセス —(株)KMユナイテッドの事例研究	(株)KMユナイテッド 竹延行雄 早稲田大学(院)修了 重枝エリカ 早稲田大学 下野僚子 京都産業大学 森口文博 早稲田大学 棟近雅彦
11:00~11:45	ストレンジャーによる農作物再開プロセスと農家の合理的意思決定: 会津産落花生の消滅から再開・定着への事例研究	KDDI(株) 片岡 修 東洋大学 山本 聡

第3会場 (5階会議室D)		(司会) 早稲田大学 結城武延
9:30~10:15	立石電機の経営改革—創業者・一真の改革DNAと継承—	(一社)国際CCO交流研究所 須本隆雄
10:15~11:00	農業経営の歴史社会学— 生業・起業・制度の時間構造 —	中央大学 砂川和範
11:00~11:45	木川田一隆の経営哲学	一橋大学(院) 菊池 弘和

11:45~13:15	昼 休 み
-------------	-------

4階 イベントホール		
共 通 論 題		
13:15~16:45(仮) 「ローカル・スタートアップの育成・資金調達・出口戦略:中国地域」(仮)		
*中国地域のスタートアップ事情、広島県三原市の事例(スタートアップ創出シティカレッジ(https://mihara-scc.com/))、広島ベンチャーキャピタル(https://www.h-vc.co.jp/))		
東京、名古屋、大阪などの都市部発のスタートアップ(アーバン・スタートアップ)と、地域(地方)発のスタートアップ(ローカル・スタートアップ)には大きな違いはないだろうか。どのような違いや特徴があるのか、ないのかを検討する。		
共通論題では、中国地域で特徴的な取り組みを実施している①広島県三原市という地域での育成事例を取り上げ、そのうえで②資金調達の状況、とりわけ、地域ベンチャーキャピタルとしての役割と課題、③出口戦略について、実務家による報告を軸に、研究者、政策者を交えて議論する。		
パネルディスカッションでは、ローカル・スタートアップの今後のあり方について議論する。		
①問題提起	県立広島大学准教授	高橋陽二
②報 告	バリュー・クリエイション(株)代表取締役社長	松浦幸夫
	広島ベンチャーキャピタル代表取締役社長	西岡 賢
	県立広島大学准教授	高橋陽二
③コメント	近畿大学教授	玉井由樹
	中国経済産業局イノベーション推進課長	高城幸治
④パネルディスカッション	同上	
司会	関西学院大学教授	加藤雅俊